

標 題 : A Short Screener Is Valid for Assessing Mediterranean Diet Adherence among Older Spanish Men and Women
高齢のスペイン人男性と女性の間で地中海食事順守を評価するのに手短な評価法は妥当である

著 者 : H. Schröder, et al. (スペイン IMIM-Institut de Recerca del Hospital del Mar 心臓血管系リスク・栄養研究グループ)

掲 載 誌 : J. Nutr. 141: 1140-1145 (2011)

要 旨 : 食事評価手段の正確性を保証することは、食事-疾患関連を解釈するために最重要である。
本研究は、一次予防の栄養介入試験である *Prevención con Dieta Mediterránea* (PREDIMED)研究で使用された14点地中海食事順守評価法(MEDAS)の相対的妥当性および構成概念の妥当性を評価した。
認証済の食事頻度アンケート(FFQ)および地中海食事順守評価法を PREDIMED 研究の参加者 7146 人で実施した。

地中海食事順守評価法由来の PREDIMED スコアは対応する食事頻度アンケート PREDIMED スコアと有意に相関し($r=0.52$ 、クラス内相関係数 $=0.51$)、食事頻度アンケートで報告された食事摂取で予想される方向にあった。

Bland Altman の解析を用いると、地中海食事順守評価法による平均地中海食事スコアは食事頻度アンケートの PREDIMED スコア推計の 105%であった。対応の限界は 57 と 153%の間であった。

高い PREDIMED スコアは、HDL コレステロールと直接関連し($P<0.001$)、BMI およびウエスト周囲、TG、TG : HDL-C 比、空腹時血糖およびコレステロール : HDL-C 比と逆の関連をすると($P<0.038$)、重回帰分析で明らかとなった。

10 年間推計の冠動脈性リスクは、PREDIMED スコアの上昇で低下した($P<0.001$)。

地中海食事順守評価法(MEDAS)は地中海食事順守の迅速評価で妥当な手段であり、臨床業務に役に立つと思われる。
